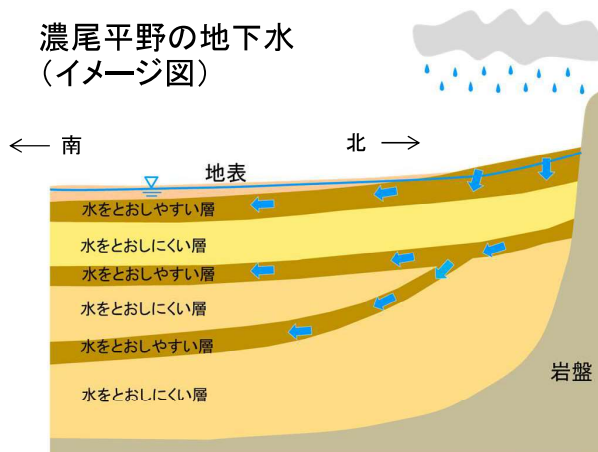


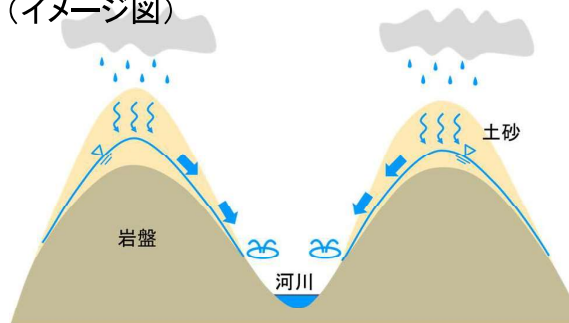
地下水は流れている



濃尾平野の地下水 (イメージ図)



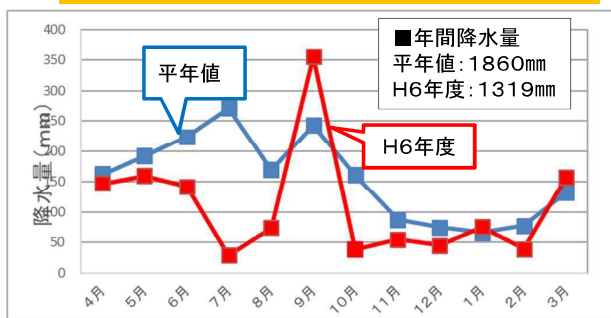
山地部の地下水 (イメージ図)



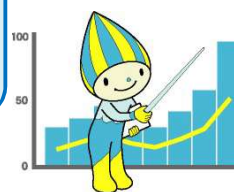
- 濃尾平野は、水をとおしやすい層が分厚く、地下水が豊富です。濃尾平野の地下水はおおよそ北から南(伊勢湾に向かって)へ流れます。
- 山地部は、水をとおしやすい層が薄く、地下水はほとんどたまることなく、川へ流れます。

降水量と地下水位の関係

岐阜の月別降水量(平年値とH6年度)



- H6年度は、全国的に降水量が少なく、渇水が発生しました。
- 特に夏場の雨が少なく、岐阜県内では東濃・可茂地区を中心に、取水規制が行われました。

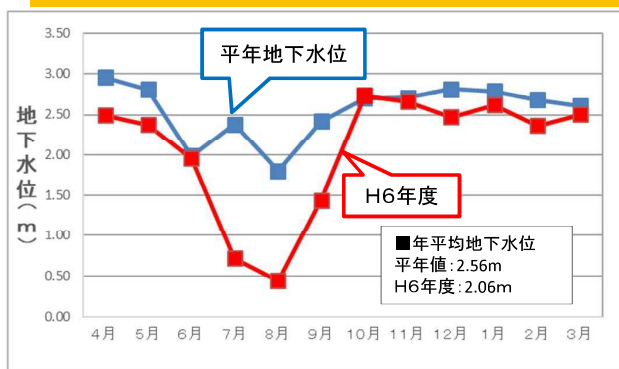


- 降水量と地下水のかかわり
- 地下水のみならずは雨水です。
- 降水量が少ないということは、地下にしみ込む水の量も減ることです。
- 降水量が少ないときに、いつも通り地下水を汲み上げたら...

地下にしみ込む水の量より、地下からくみ上げる水の量の方が多くなるかもしれません。
→地下水位の低下や地盤沈下を引き起こす可能性があります。

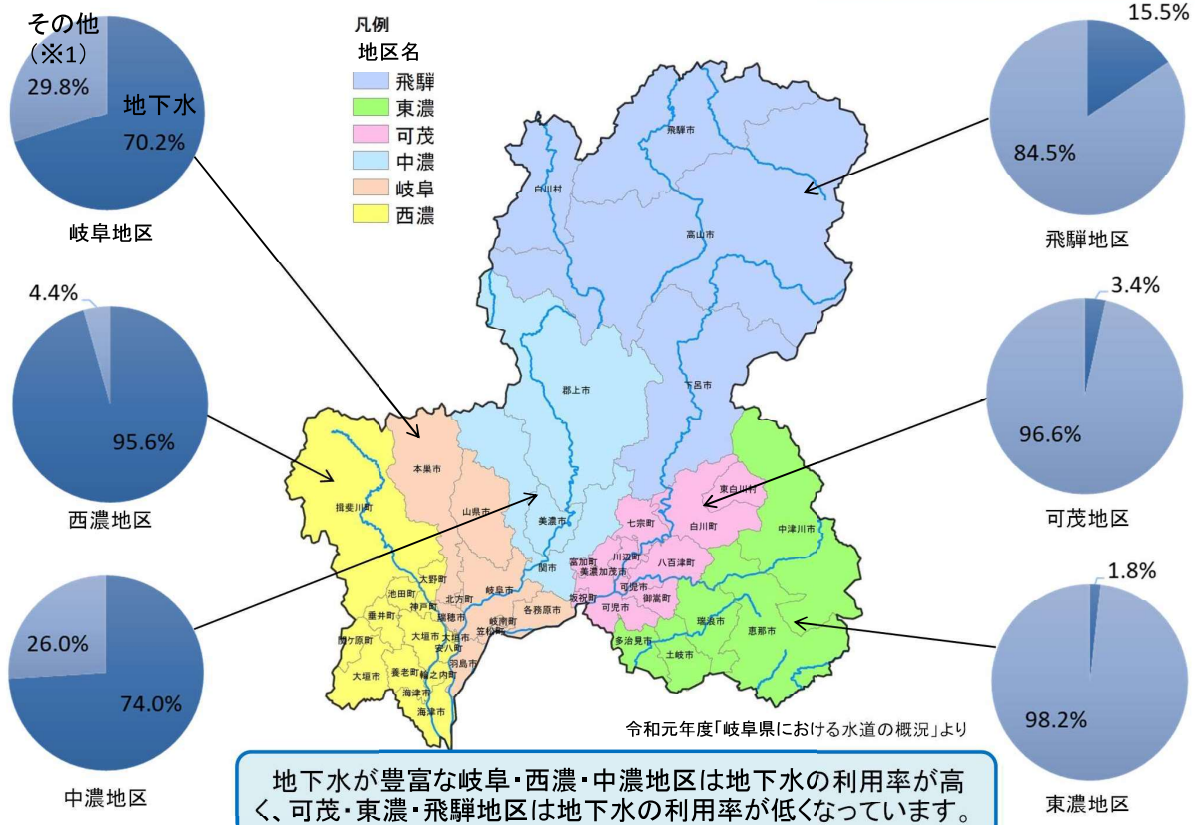
降水量と地下水には関わりがあることを知っておこう!

濃尾平野におけるG1層の月平均地下水位(T.P.(m))



水資源課調べ
※平年地下水位: S51年度~R2年度までの月別平均地下水位

私達の生活と地下水(水道水源の地下水利用率)



(※1)河川水、伏流水、ダム開発水等)

地下水の特徴

特性	内容
良質な水質	地下水は、長期間かけて地層中に賦存しているものであり、地下浸透の過程で不純物質は土壌に付着・ろ過されることから、一般に水質が良好であり、適度にミネラル分を含有しています。
恒温性	地下水は、地域によって差異はあるものの、年間を通じてほぼ一定の水温となることが知られており、河川等の表流水に比べて夏は冷たく、冬は温かいのが特徴です。
経済性	地下水採取のための経費として、井戸の掘削、ポンプ等の揚水設備の設置などの初期経費と、ポンプの電気代などが必要となりますが、他の水資源に比べて一般に安価です。
遅い流動	地下水は、地表水と比べて非常に遅く流れています。(例えば、濃尾平野G1・G2帯水層の平均的な地下水の流速は、垂直2.6m/日[扇状地]、水平 8.6m/日)

■地下水と水道料金
地下水が豊富にある岐阜・西濃・中濃では、水道料金が安いことが分かります。

■地下水はゆっくり流れている
地下水は河川とは異なり、非常にゆっくりと流れています。そのため、ひとたび地下水が汚れてしまうと、なかなかきれいになりません。大切に水を使いましょう。

県内の水道料金(上水道)

地区	区分	水道料金(円)
岐阜	岐阜市	885円
	羽島市	940円
	各務原市	1,221円
	山県市高富	1,100円
	山県市美山	1,100円
	瑞穂市	935円
	本巣市	1,067円
	岐阜南町	713円
	笠松町	684円
	北方町	957円
平均	960円	
西濃	大垣市	960円
	海津市	1,650円
	養老町	1,705円
	垂井町	960円
	関ヶ原町	1,320円
	神戸町	825円
	輪之内町	1,100円
	安八町	1,430円
	揖斐川町	847円
	大野町	1,177円
池田町	1,870円	
平均	1,258円	
中濃	関市	836円
	美濃市	1,480円
	郡上市	1,320円
平均	1,212円	
可茂	美濃加茂市	1,925円
	可児市	1,738円
	坂祝町	2,130円
	富加町	1,914円
	川辺町	2,095円
	八百津町	2,192円
	御嵩町	1,881円
平均	1,982円	
東濃	多治見市	1,628円
	瑞浪市	2,145円
	土岐市	2,035円
	恵那市	2,272円
平均	2,056円	
飛騨	高山市	1,188円
	飛騨市	1,100円
	下呂市	1,173円
平均	1,154円	
県平均		1,403円

※水道料金は、月に10m³使用した場合

令和元年度「岐阜県における水道の概況」より